

## 磐梯山の火山活動解説資料（平成 27 年 1 月）

仙台管区气象台  
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
平成 21 年 3 月 31 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図 1～5、図 6-①）

剣ヶ峯に設置してある遠望カメラによる観測では、山体北側火口壁の噴気の高さは 100m 以下で、噴気活動は低調に経過しました。

14 日に陸上自衛隊の協力により実施した上空からの観測では、前回（2014 年 1 月 20 日）と比較して、沼ノ平噴気地帯及び山体北側火口壁噴気地帯の噴気と地熱域<sup>1)</sup>に特段の変化は認められませんでした。

#### ・地震や微動の発生状況（図 6-②～⑥）

火山性地震はやや多くなる日もありましたが、期間をとおしては少ない状況で経過しました。  
火山性微動は観測されませんでした。

#### ・地殻変動の状況（図 7、図 9）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

- 1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を検知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。



図 1 磐梯山 山体北側火口壁の噴気の状況（1 月 22 日）

- ・ 剣ヶ峯（山頂の北約 7 km）に設置してある遠望カメラの映像です。
- ・ 実線赤丸で囲んだ部分が山体北側火口壁からの白色噴気で高さは 100m です。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 27 年 2 月分）は平成 27 年 3 月 9 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。  
本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 26 情使、第 578 号）。

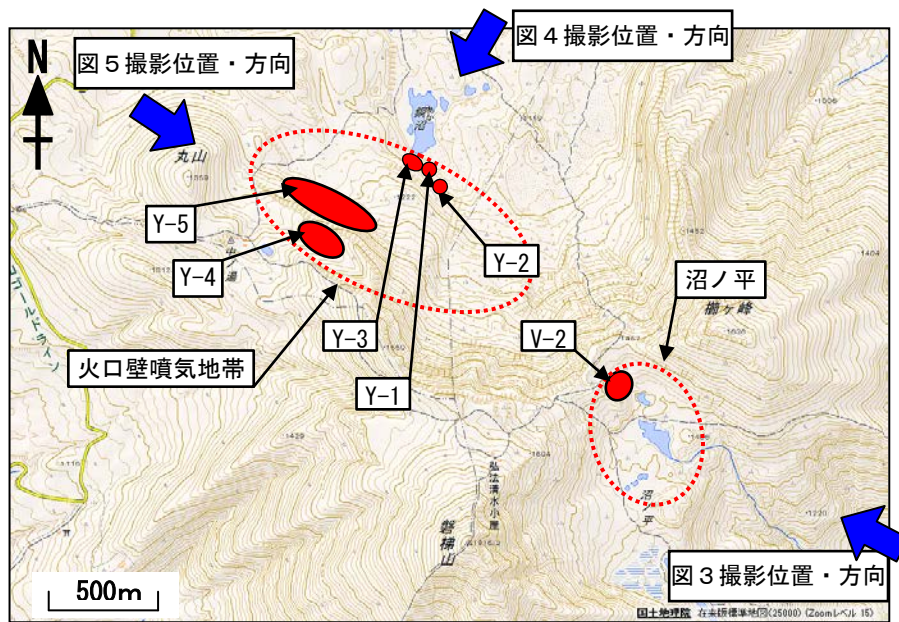


図 2 磐梯山 噴気地熱域の分布及び上空からの写真と地表面温度分布<sup>1)</sup>の撮影位置・方向

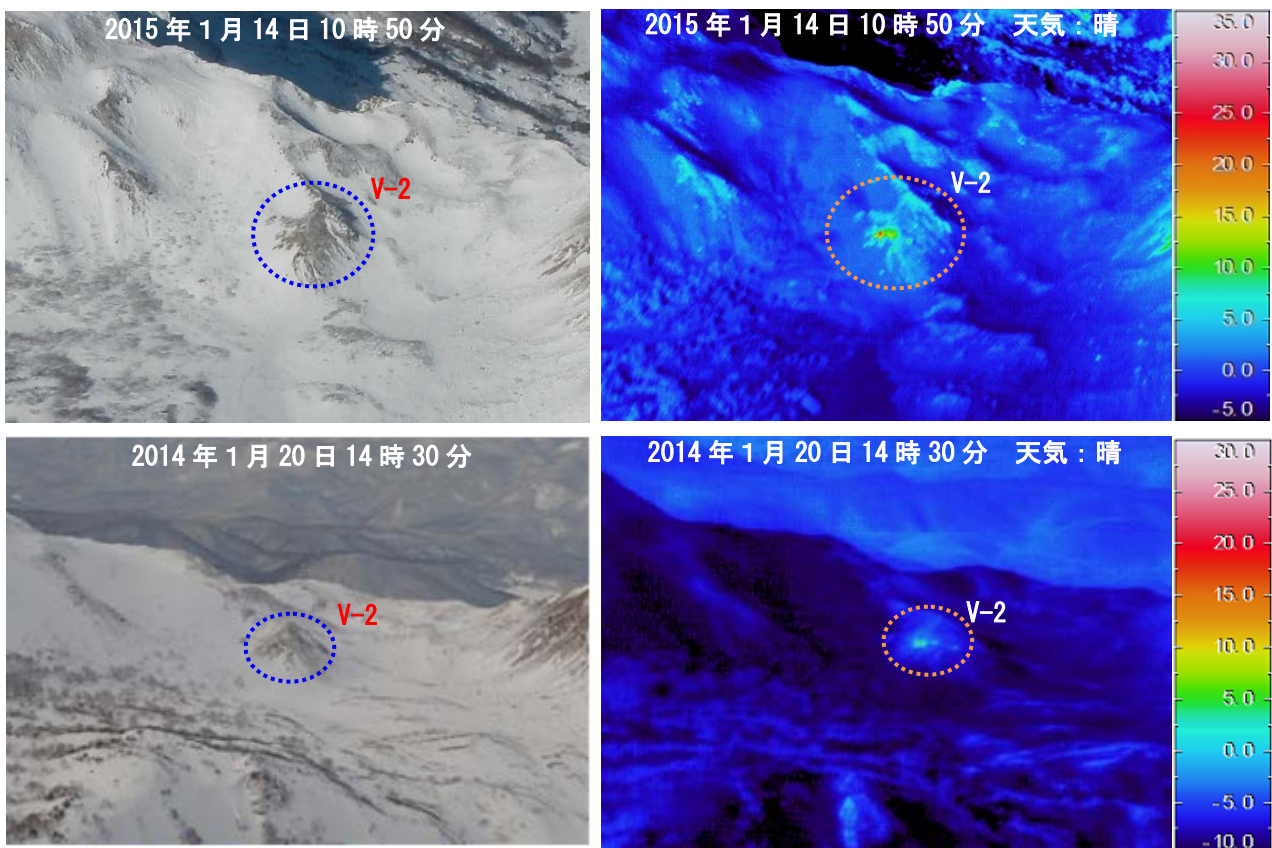


図 3 磐梯山 沼ノ平(V-2)の状況と地表面温度分布

- ・陸上自衛隊の協力により撮影しました。
  - ・前回（2014年1月20日）と比較して、地熱域に特段の変化は認められませんでした。
- ※破線領域以外の温度の高い部分は日射による影響です。



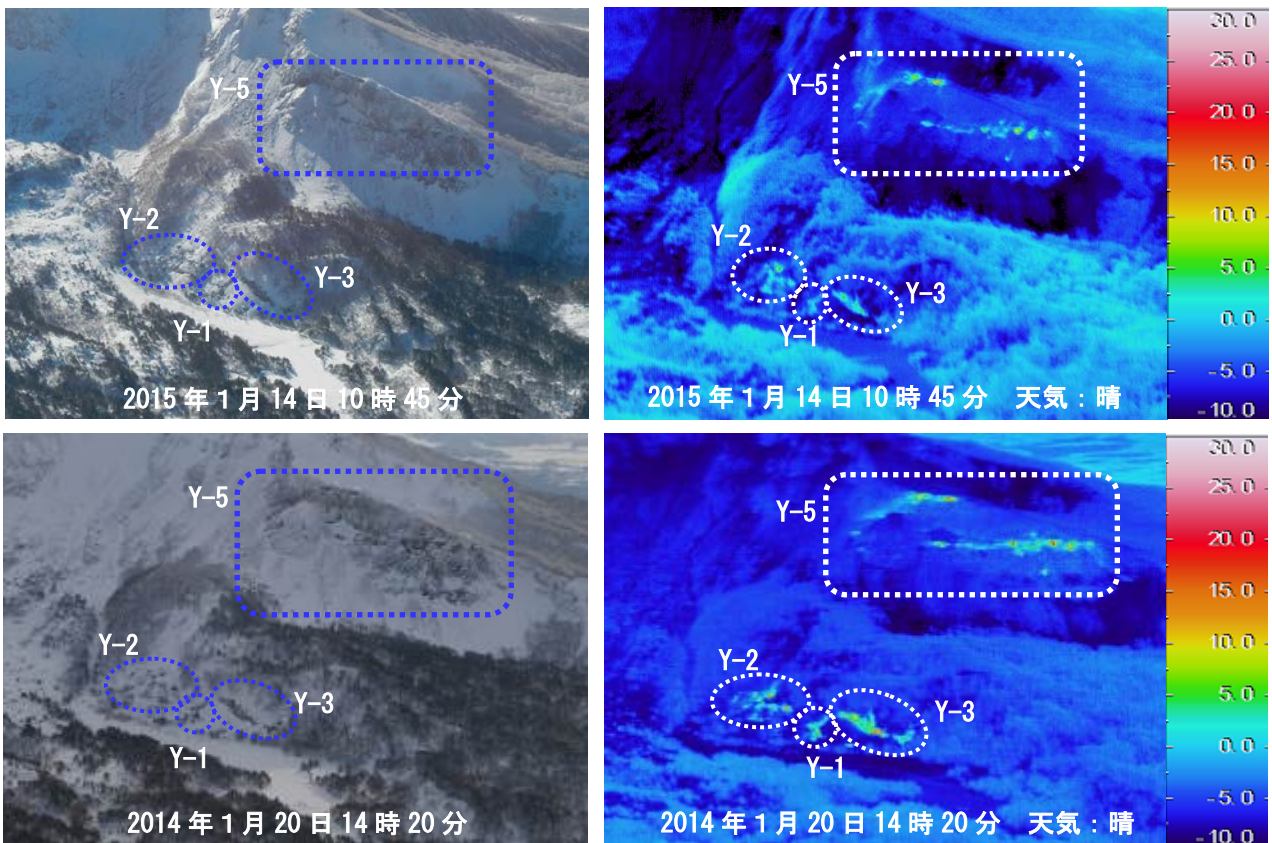


図4 磐梯山 火口壁噴気地帯（Y-1、2、3、5）の可視画像と地表面温度分布

- ・陸上自衛隊の協力により撮影しました。
- ・前回（2014年1月20日）と比較して、地熱域に特段の変化は認められませんでした。

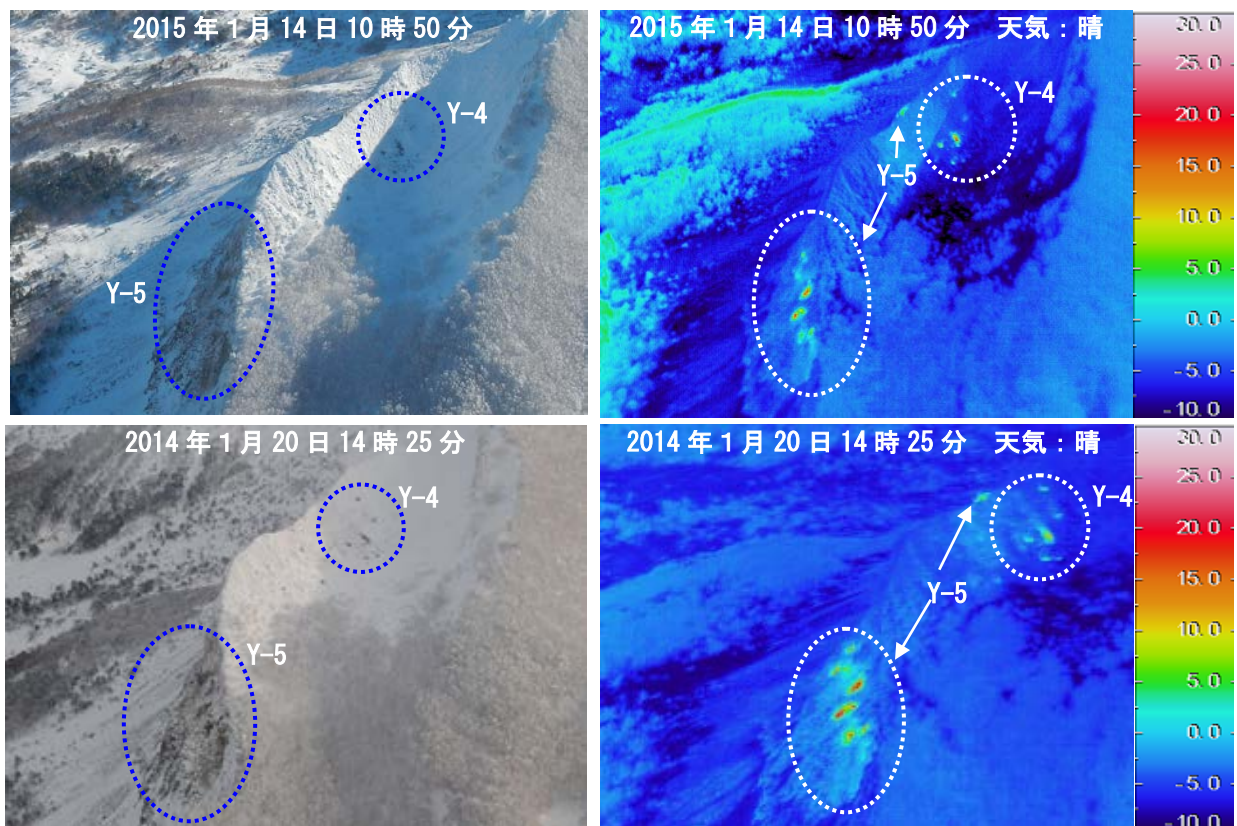


図5 磐梯山 火口壁噴気地帯（Y-4、5）の可視画像と地表面温度分布

- ・陸上自衛隊の協力により撮影しました。
  - ・前回（2014年1月20日）と比較して、噴気・融雪域に特段の変化は認められませんでした。
- ※破線領域以外の温度の高い部分は日射による影響です。

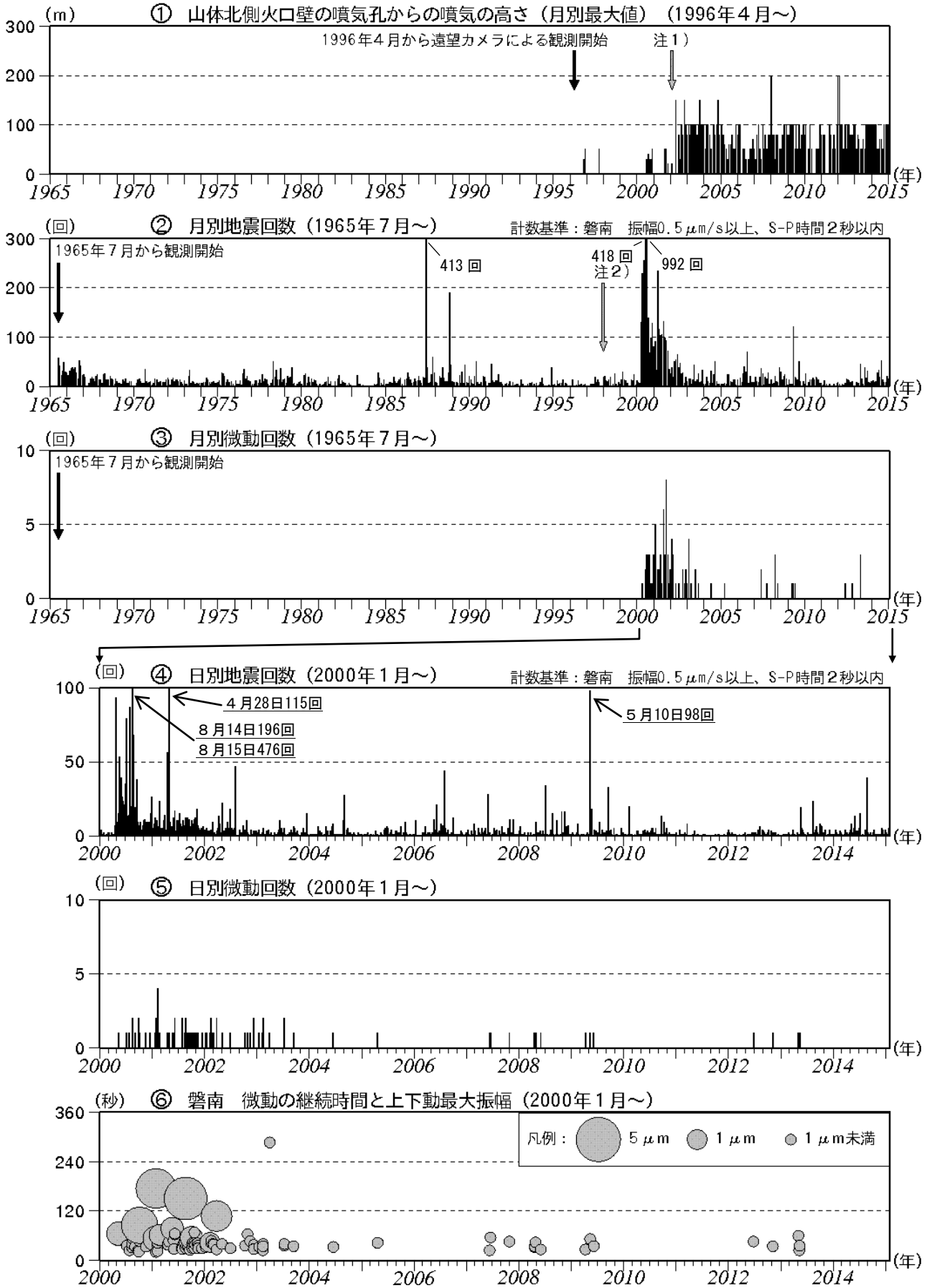


図6 磐梯山 火山活動経過図 (1965年7月～2015年1月)

- ・①注1) 2002年2月以前は定時(09時、15時)及び随時観測による高さ、2002年3月以後は24時間観測による高さです。
- ・②注2) 1998年より計数基準をS-P5秒以内からS-P2秒以内に変更しました。

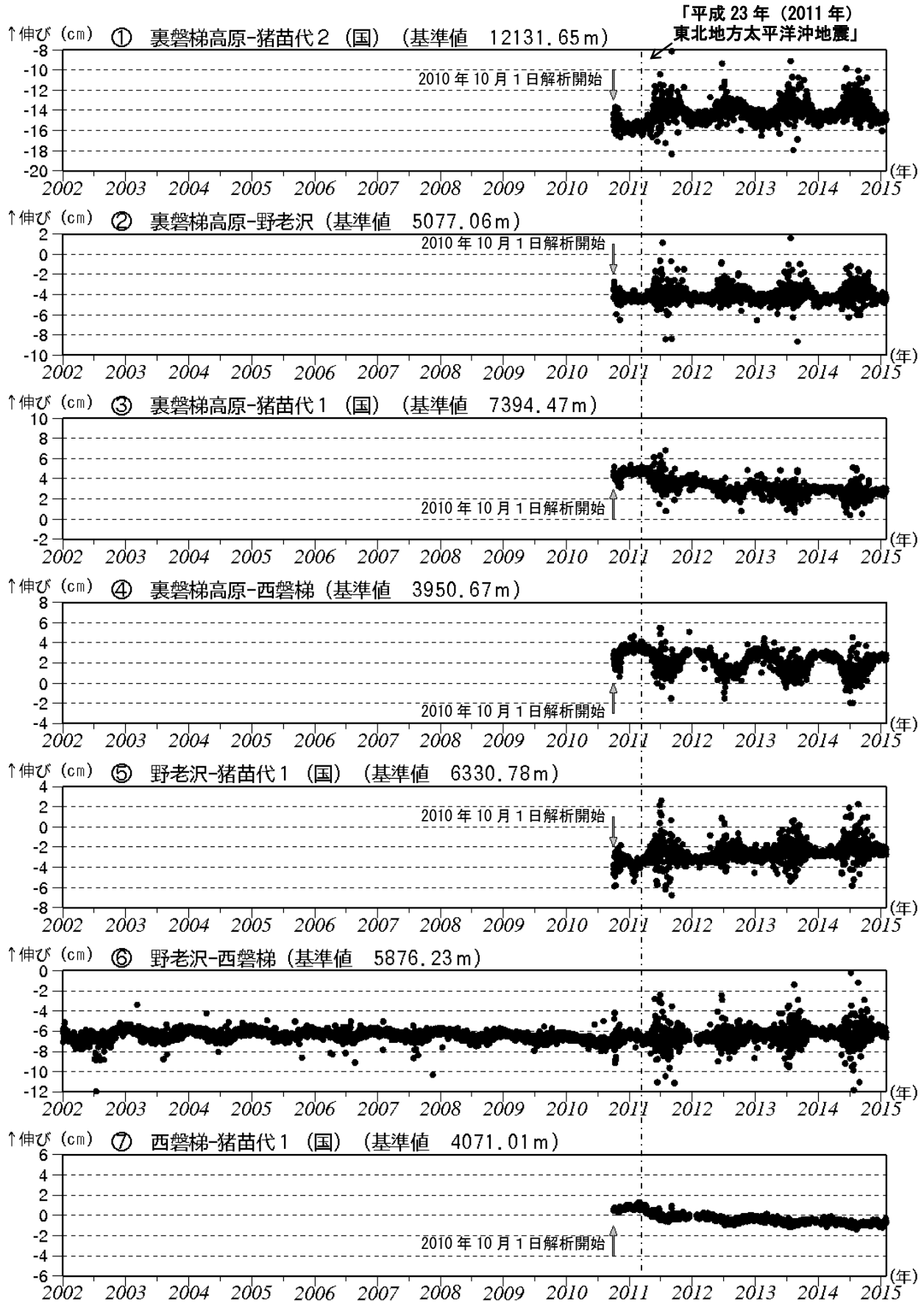


図 7 磐梯山 GNSS<sup>2)</sup> 基線長変化図 (2002 年 1 月～2015 年 1 月)

2) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

・ 2010 年 10 月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。

・ 「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。

・ ①～⑦は図 9 の GNSS 基線①～⑦に対応しています。

・ グラフの空白部分は欠測を表しています。

・ 各基線の基準値は補正等により変更する場合があります。

(国) : 国土地理院



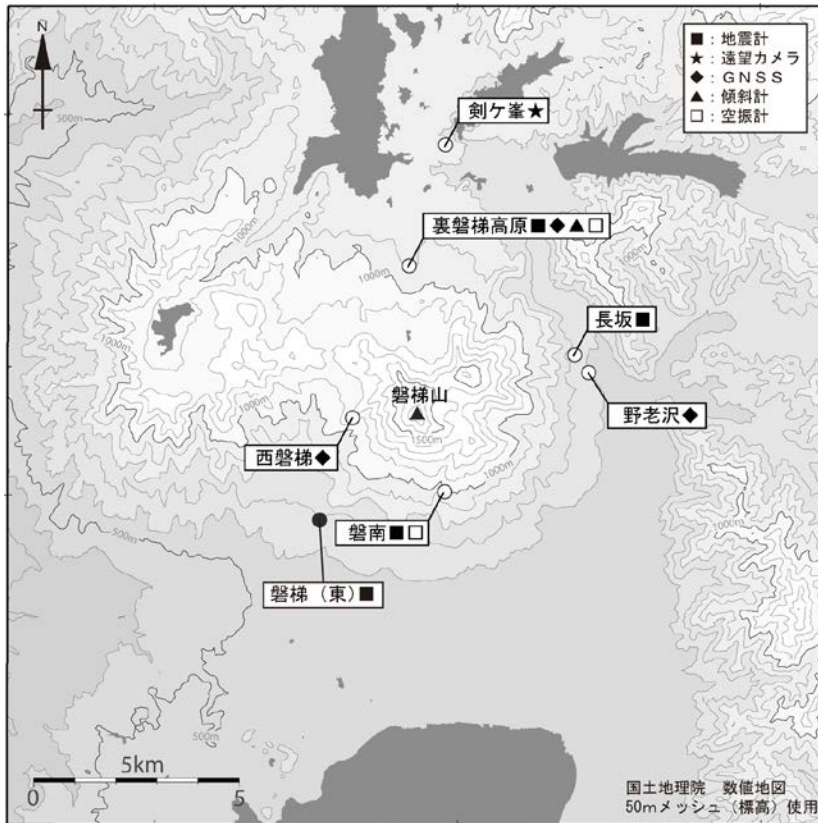


図8 磐梯山 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
 (東) : 東北大学

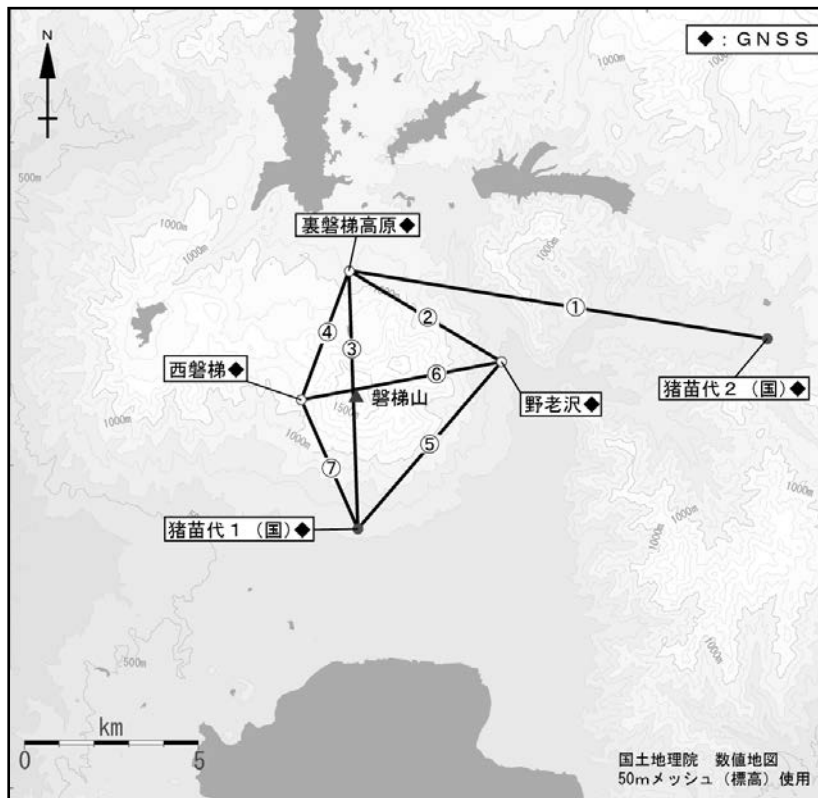


図9 磐梯山 GNSS 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
 (国) : 国土地理院